

'S' ウェルネスクラブ小谷 施設案内

1. 開設
4月29日（プレオープンは4月20日予定）

2. 所在地
北安曇郡小谷村大字北小谷1717
(いわかがみと同じ旧北小谷小学校跡地)

3. 連絡先
電話：0261-71-6622
FAX：0261-71-6602

4. スタッフ
健康運動指導士 常勤2名
受付・監視員 非常勤数名



5. 営業時間
平日・土曜日 10:00~21:00 最終入場20:15まで
日曜祝日 10:00~18:00 最終入場17:00まで
定休日 毎週水曜日・年末年始

6. 施設設備

①プール ・25m 4コース（1コースは歩行専用）
②スパゾーン ・温熱岩板浴 ・スチームサウナ ・気泡浴（ジャグジー） ・シャワー
③トレーニングルーム ・ランニングマシン 3台 ・エアロバイク 4台 ・各種筋力トレーニングマシン 6台 ・ダンベル、エアロビマット等
④リラクゼーションルーム ・マッサージチェア 4台 ・ジョーバ 2台
⑤その他 ・体力測定器 ・体組成測定器 ・血压系 ・カフェスペース ・血压計 ・メディカルチェックルーム ・飲料の自動販売機



いつも優しく

当財団が運営する「訪問看護ステーション・訪問介護ステーション」の各5施設について、今号と次号の2回に亘りご紹介致します。

訪問看護ステーション・訪問介護ステーションについて

在宅療養におけるサービスのひとつとして、「訪問看護」「訪問介護」があります。当財団にも訪問看護ステーションと訪問介護ステーションがあります。高齢者及び病気や障害をお持ちの方が住み慣れた地域で安心して療養生活を送れるように、訪問看護師・リハビリの専門スタッフ・訪問介護員がご自宅へお伺いして様々な支援をいたします。健康な時と違って、病気や障害、加齢により今までのような生活ができなくなった時、ご本人のみならずそのご家族にとっても不安が非常に大きいと思います。そんな時に専門家である私たちがお役に立てると思います。

今回はそれぞれステーションのご紹介をしたいと思います。

（訪問看護・訪問介護について詳しくは、当財団ホームページ<http://www.shironishi.or.jp>をご覧ください。）

いつも優しく

社会医療法人 城西医療財団
〒390-8648
長野県松本市城西1-5-16
TEL 0263-33-6400
FAX 0263-33-9920

ホームページ
<http://www.shironishi.or.jp>

目次：○訪問看護について	・・・P1
・松本西訪問看護ステーション	・・・P2
・松本西訪問介護ステーション	・・・P2
・安曇野南訪問看護ステーション	・・・P3
・安曇野南訪問介護ステーション	・・・P3
○'S' ウェルネスクラブ小谷	・・・P4
・施設案内	・・・P4

城西医療財団 理念

私達は、病める人、障害を持つ人にいつも優しく、最良の医療サービス及び福祉サービスを一体的に提供する。また、心身の健康保持・増進を志向する人に最良の保健サービスを提供する。利用者を身体的、精神的、社会的、そして倫理的に診療し、科学的根拠に基づいた治療を行う。

松本西訪問看護ステーション

所長 田口 佐江子

城西病院の同じ敷地内に私どもの訪問看護ステーションがあります。財団の中でも一番最初で平成4年11月に開設いたしました。訪問看護制度がスタートした年でもあり、来年は20周年を迎えます。

●ステーションの運営方針●

なんと言っても「いつも優しく」本誌のタイトル同様、利用者を大切にすること。安心して在宅療養生活を送れるように、個別に応じて誠心誠意をもってお世話をする。また、主治医やケアマネージャー、訪問介護員、病院の退院調整者、市役所のケースワーカーなど在宅生活に関わる大勢の関係者の皆様と一緒に地域で支えていこう。と考えています。

●ステーションの職員体制●

スタッフは現在、看護師5名、作業療法士1名事務員1名です。

●ステーションの特徴●

利用者は1歳未満の赤ちゃんから100歳を超える方まで常に65人位いらっしゃいます。小児科病棟勤務の経験のある看護師による、小児特有の医療ケアはもちろん母親の保育相談や、やはり小児リハビリの経験のある

作業療法士による成長発達段階に応じた訓練などおこなっています。また、関連病院から精神に障がいをお持ちの方への訪問依頼が多くなっています。利用者が地域で安心して生活ができるように相談に乗ったり、他職種と連携を取りながら支援しています。

●これからの展望●

医療の高度化や在院日数の短縮化などで、ますます訪問看護の需要は高まっており、在宅療養されている利用者の期待も大きくなっています。そんな時代の流れに遅れを取らないよう、常に私たち自身が自分の感性を磨き、ケアの技術も高めていく必要があると考えています。そして、皆様に訪問看護を利用してよかったと思っていただけるよう努力してゆきたいと思っています。



松本西訪問介護ステーション

訪問介護員 小松 加代

当松本西訪問介護ステーションは、ヘルパー15名と事務員1名がひとつとなって「いつも優しく」をモットーに、日々利用者宅へ訪問させて頂いています。

訪問介護とは、利用者の在宅生活全般を支援する仕事です。内容は、身体介護（入浴、食事、排泄）の他、買い物や食事の用意、お過ごしになられる空間を清潔に保つための掃除等の生活援助があります。

在宅では、利用者やご家族とのコミュニケーションがとても大切です。利用者が望んでおられる在宅生活に少しでも近づける事が出来る様、そして更に向上して頂ける様、又、ご家族の介護負担が少しでも軽減される様、小さな事柄でもお困りの事があれば、少ないながらも、今までの経験か

ら助言させて頂き、一緒に考え納得いただける解決方法が見つかるよう様努力しています。又、大きな問題に対しては他の在宅サービス事業所との連携を図りながら、最善の問題解決を目指しています。

この様にして一つの事柄が解決し、利用者やご家族より「ありがとう」の感謝の言葉を頂く時、これこそが私達の仕事の原動力だと実感出来る瞬間です！

今後も訪問介護の仕事を通じて、介護職員として、又、人としても成長していくことが出来たらと思っています。

安曇野南訪問看護ステーション

所長 山田 けさみ



安曇野市三郷の小倉病院内に、私どもの訪問看護ステーションがあります。平成8年6月に開設いたしました。松本平を眼下にみながら訪問しています。

●ステーションの特徴●

難病、慢性疾患、認知症、ターミナル、精神疾患など40歳から100歳を超える幅広い年齢層、また農村地域のため80歳からの高齢者が8割程度を占めています。安曇野市内の医院からの依頼が多く、利用者・御家族の希望に添った看護ができるように、ケアマネージャー、訪問介護員、地域保健師と連携がとれる体制をつくっています。

医療処置の多い方の在宅移行時には、病院に直接伺い入院先の医師、看護師と連携

しながら支援しています。

●これからの展望●

医療依存度の高い方でも、在院日数の短縮化などで在宅生活になる方も多くなってきています。障害があっても、高齢の方でも、少しでも在宅療養生活が向上できるよう、常に私達自身が看護の質を高められるよう、利用者に満足して頂けるように努力していきたいと思っています。

★訪問看護とは★

看護師などがお住まいを訪問し、療養生活を送っている方の看護を行うサービスです。利用者・御家族の意思、生活スタイルを尊重し、生活の質が向上できるよう予防的支援から看取りまでを支えます。

主なサービスは、①療養生活の相談・支援、②病状や健康状態の管理と観察、③医療処置、④リハビリテーション、⑤看取り、⑥在宅移行支援など。

ご依頼はかかりつけ医に相談して下さい。

安曇野南訪問介護ステーション

サービス提供責任者 百瀬 里子

安曇野南訪問介護では、ただ在宅で生活していくお手伝いだけではなく、どうしたらその方がよりその人らしく、生き甲斐を感じながら生活できるようになるのか、共に考え、情報を提供したり、相談にのったりしながら、日々の生活をサポートさせて頂いています。私どもの事業所の特色として挙げられるのが、介護保険適用以外の活動として、利用者に毎年、七つの鐘小倉メナーで行われている、お祭りへの参加、文化祭への参加を募り、送迎のお手伝いをしています。春のメナーのお祭りでは日頃外出が難しい利用者に来て頂き、美味しいご馳走を召し上がっていただいたり、太鼓や踊りなど、お祭りならではの感覚を思いだしていただき、感謝のお言葉を頂いています。

秋の文化祭では、作品作りを提案し、一

年をとおして一緒に作品を制作し、文化祭を発表の場として目標に行っています。貼り絵だったり、刺し子だったり、パズルだったり様々な作品が完成し、ヘルパーが驚くような作品が出来上がったりして未知のパワーを感じたりします。不思議なもので、そういう時に普段見せない以外な一面が見えたりし、利用者や真の心と心のふれあいを感じたりします。日々の生き甲斐を感じて生活していく事のお手伝い以上に、こういったコミュニケーションは、信頼関係を築いていく過程でもとても重要な役割を占めています。そして忘れてはいけない、自立を引き出すお手伝い、利用者自身が探している行き方のスタイルに繋がる、「自立の援助」として足がかりとなればと意識しています。